

図-15  
地震動予測手法について

表 地震動予測手法の比較

	統計的グリーン関数法	ハイブリッド波形合成法
入力データ	断層の巨視的パラメータ 断層の微視的パラメータ 伝播経路の地盤特性	断層の巨視的パラメータ 断層の微視的パラメータ 伝播経路の地盤特性 3次元地盤モデル
出力データ	波形出力	波形出力
特徴	広い周期帯域で適用可能 長周期帯域は直達波の影響は考慮できる。 地盤の3次元形状の影響や表面波は考慮できない。	短周期帯域は統計的グリーン関数法を利用 長周期帯域は3次元差分法を利用 長周期帯域で、堆積盆地の3次元的影響や表面波の影響を評価できる。 長周期帯域の影響は、堆積盆地の規模が大きいほど影響が大きい。
適応する構造物	一般的な土木・建築構造物	一般的な土木・建築構造物に加えて、 長大橋(長スパン・高橋脚)、液体貯蔵用大規模タンク、超高層建築物(45m以上)等にたいして適切な入力となる。
京都府における 適応性	◎	○

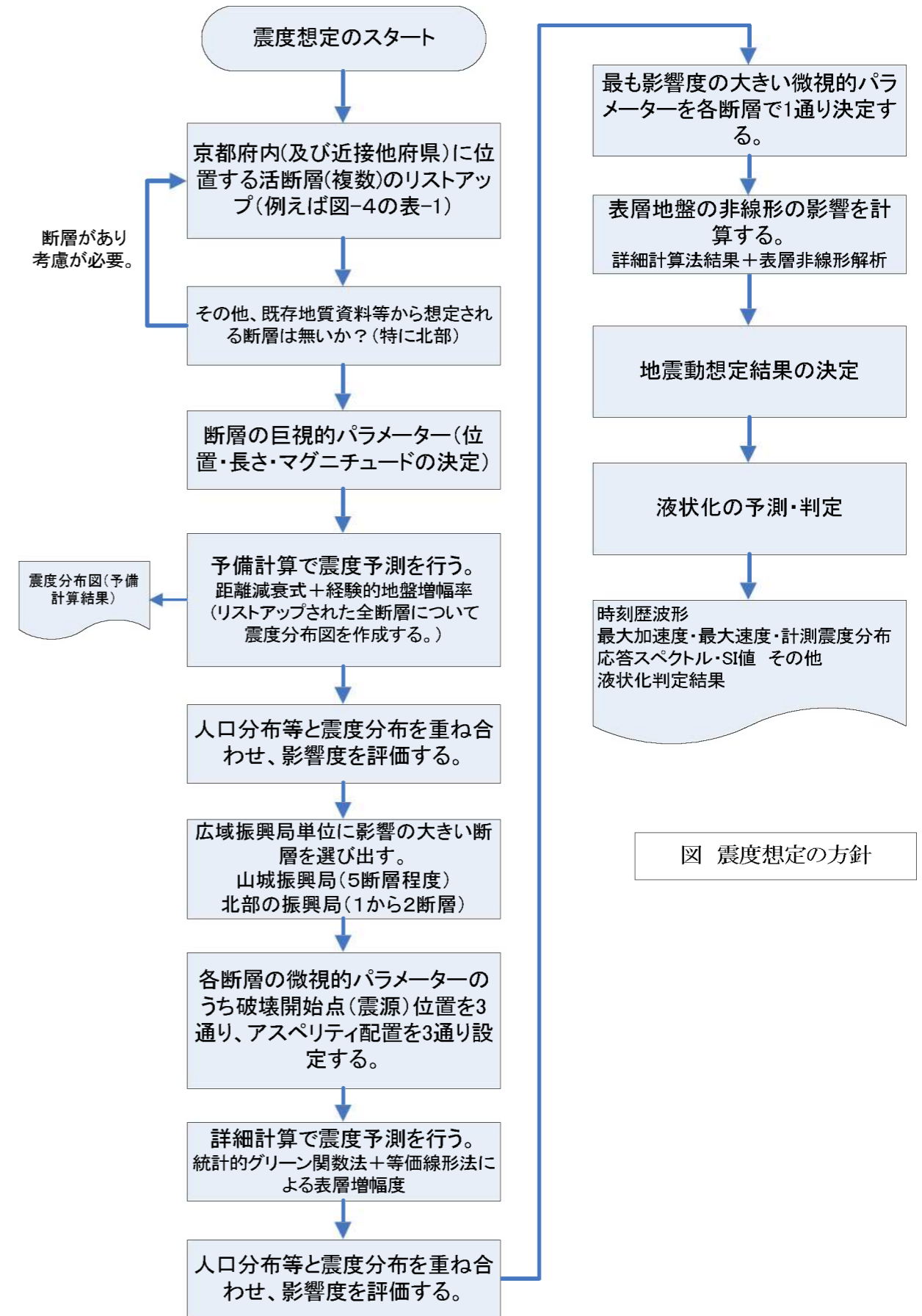


図 震度想定の方針